

臨床試験にご協力していただける方を募集しています

この治療のご紹介

筋肉の活動を抑える作用があるボツリヌス毒素（ボツリヌス菌が作り出すたんぱく質）膀胱内注入療法は、尿失禁の回数や膀胱に貯められる尿が多くなる効果が期待されている治療です。このおくすりは、すでにまぶたや顔のけいれん、斜視、尖足などでは使用されています。

このような症状の方

脳や脊髄などの神経が原因で、膀胱に十分な尿をためることができなくなったり、適切なタイミングで排尿するのが難しくなったりしている状態（神経因性排尿筋過活動による膀胱機能障害）の方を対象としております。

ご参加頂ける方

- 5歳以上 18歳未満の方
- 器質的脊髄病変によって、神経因性排尿筋過活動のある方
- 自己導尿を開始して3ヵ月以上経過しており、1日3回以上の自己導尿を行っている方
- 1日2回以上の尿失禁エピソードがある日が週5日以上ある方
- 1種類以上の抗コリン薬内服で症状が抑えられない方

この他にも参加頂くための基準がございます。



参加のメリット

この試験に参加することにより、症状が改善して、尿失禁が減る、薬の減量・中止が期待されるうえ、手術療法（膀胱拡大術）をせずに、腎臓の機能を保てる可能性があります。

参加のデメリット

治療は入院して全身麻酔で行い、処置のためにかかる費用の一部が個人負担となります。処置に伴う尿閉、尿路感染症や、頭痛などが報告されています。



臨床試験の流れ

- ① まずは、**下記のお問合せ窓口**まで**お電話**ください。
- ② お電話での確認後、**東京都立小児総合医療センター**に来院いただき、臨床試験の説明を受けていただきます。
- ③ 臨床試験の内容に同意いただきましたら、参加基準の確認に必要な検査・症状の評価を行います。
- ④ 参加基準を満たしていれば、試験治療の準備を進めさせていただきます。
- ⑤ 試験治療は1回、その後6ヵ月間の観察を予定しています。

募集期間

2022年3月31日まで



臨床試験に関するご相談、お問合せ窓口

東京都立小児総合医療センター
泌尿器科又は臨床研究支援センター
TEL : 042-300-5111